



2026 年 10 月 1 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

苫小牧市と低炭素水素の普及促進についての協定を締結

ーコスト競争力強化につながる水素サプライチェーンモデルを構築し、早期の社会実装・普及展開を目指すー

スパークス・グループ株式会社（以下、当社）は、当社子会社のスパークス・グリーンエナジー & テクノロジー株式会社（以下、SGET）を通じて、環境省（以下、同省）が公募し採択された「令和 5 年度 既存のインフラを活用した水素供給低コスト化に向けたモデル構築・実証事業」に続き、同省が公募した「令和 8 年度 コスト競争力強化を図る再エネ等由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」に採択されたことを受け、2026 年 9 月 25 日に SGET が苫小牧市と低炭素水素の普及促進について相互の連携及び協力を図ることを目的とした協定を締結しましたことをお知らせいたします。

「スパークス・苫小牧グリーン水素製造所」を拠点に取り組む本実証事業は、需要増加に伴うスケールアップや、貯蔵・輸送を含む効率化に焦点を当て、コスト競争力の強化につながる水素サプライチェーンモデルの構築を目指すものです。SGET はより効率的な水素の輸送手段を検討するとともに、新たに水素ステーションを併設し、水素を燃料とする路線バスや公用車・社用車などでの利用拡大を目指す実証を苫小牧市の協力を得ながら進めます。本道内では 5 か所目となる水素ステーションの整備により、既存の札幌市内の水素ステーションとの連携も見据えた広域的な水素利用環境の形成が期待されます。これにより、水素モビリティの利便性向上と利用拡大を促進し、北海道における水素社会の実現に向けた重要な基盤整備となることを目指します。

【協定の概要】

協定名	苫小牧市とスパークス・グリーンエナジー & テクノロジー株式会社との低炭素水素の普及促進に関する連携及び協力に関する協定
締結当事者	苫小牧市、およびスパークス・グリーンエナジー & テクノロジー株式会社
締結日	2026 年 9 月 25 日
目的	低炭素水素の普及促進について相互の連携及び協力を図ること
主な内容	SGET が取り組む苫小牧市の再生可能エネルギー等を活用した低炭素水素の製造・貯蔵・輸送・利用に係るサプライチェーンの構築・実証を、令和 8 年度から令和 11 年度までの 4 年間で実施します。苫小牧市は、水素ステーションの利用促進、燃料電池車（FCV）の普及促進、市有地の貸付等を通じて、SGET の本実証事業の推進に協力します。
有効期間	2030 年 3 月 31 日



■ 関連先発表

環境省：令和 8 年度「コスト競争力強化を図る再エネ等由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」の採択について

https://www.env.go.jp/press/press_05217.html

■ 弊社本件関連プレスリリース

北海道苫小牧市で再エネ水素サプライチェーンを構築する実証事業を開始

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8739/tdnet/2310033/00.pdf>

再エネ水素製造所整備工事の安全祈願祭を実施

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8739/tdnet/2444924/00.pdf>

「北海道を水素アイランドへ」スパークス、GX の未来を切り拓くー北海道苫小牧市で再エネ水素製造所を竣工、サプライチェーン構築の実証事業を本格始動ー

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8739/tdnet/2572036/00.pdf>

- 本お知らせは、当社グループの事業内容をご理解いただくために、当社グループ会社の事業に関する情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室

pr_media@sparxgroup.com